事例No.	862
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	福岡県添田町

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用 ・消防・防災

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

災害等により荒廃した森林の再生

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

森林整備

福岡県　添田町（災害等により荒廃した森林の再生）

わがまちの税活用方針

・本町の森林面積は約11千haで総面積の８割以上を占めており、スギを主体とした人工林の面積は、民有林の約８割で、県平均を大きく上回っている。
・現在、人工林で12齢級以上の林分が約４割を占めており、今後、間伐とともに主伐を推進し、森林の世代サイクルを回復させる必要がある。
・しかし、小規模零細な所有者が多く、手入れが行き届かない森林の増加や自然災害や獣害等により荒廃した森林が増えている状況にある。
・そのため、温室効果ガス削減の目標の達成や災害防止を図る目的で、災害等個人の責に帰し得ない事由で荒廃した森林の再生を支援する。

主な取組・概要

・過去に造林補助事業等を活用したが、個人の責によらない事由により再造林が必要となった箇所での事業を実施する。

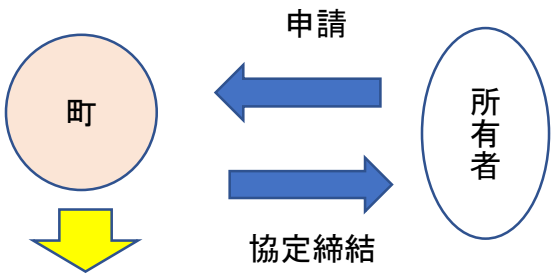
1　添田町森林環境整備事業
【事業費(内譲与税額)】13,320(13,320)千円
【実施時期】令和元年12月～令和2年3月
【事業内容の一部】
(針葉樹植栽)
・２回以上の個人負担による植栽実績があり、災害、獣害等により今後も育成が困難とされる場合に限り施業を行う。

※台風被害による表土流出の状況



(被災状況のイメージ)

事業スキーム





災害・獣害による荒廃森林

・森林所有者より相談を受け、現地調査及び施業履歴等の調査をし、事業要件に該当すると認められた森林で、周辺の森林整備への影響が大きい森林から事業を実施する。

工夫・留意している点、特徴等

・２回以上の個人負担実績の確認等、要件を厳格化することで、単純な個人資産の形成につながらないよう配慮した。